

管理事業名	非核平和都市宣言事業			総合計画の体系	第1章 第2節	全ての人がいきいき輝くまちづくり 非核、平和のまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 17	人権費	
部局名	市民部	予算執行所属	人権平和室					
予算大事業名	非核平和都市宣言事業							
事業の目的と概要		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
<p>事業の目的と概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹田市は昭和58年(1983年)、核兵器の廃絶を訴え、真の恒久平和を願い、非核平和都市宣言を行いました。この宣言を裏切るものとするため、非核平和資料展や平和啓発事業などを通して、平和意識の高揚を図っています。 平和祈念資料館は、市民から寄贈された戦時中の現物資料を展示するための施設として、市民の要望により、平成4年(1992年)、旧市民会館に平和祈念資料室として開室し、平成24年(2012年)9月、千里ニュータウンプラザ内に「吹田市立平和祈念資料館」として、移転しました。常設展示を始め、企画展や語り部など各種平和啓発事業を行うことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを訴えています。 								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
平和祈念資料館利用者数及び市民平和のつどい事業参加者数	人	28,188	51,668	49,223	平和祈念資料館来館者数(平成29年度 12,306人) 平和祈念資料館主催事業の参加者数(平成29年度 467人) 平和祈念資料館所蔵資料(図書を除く)貸出による館外での利用者数など(平成29年度 36,239人) 市民平和のつどい 非核平和資料展の来場者数(平成29年度 計測不可) 市民平和のつどい 平和に関する催しの来場者数(平成29年度 211人)
平和祈念資料館の所蔵資料貸出件数	件	59	57	59	平和祈念資料館の所蔵資料貸出件数(図書を除く)
成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の市民平和のつどい 非核平和資料展はオープンスペースで実施したため、来場者数の計測ができませんでした。 市内の学校や幼稚園・保育園等への積極的な広報活動に継続して取り組んでいます。 平成28年度以降は天王寺動物園で行われたイベントと連携して、平和祈念資料館所蔵の資料貸出展示を行っています。 平和祈念資料館の主催事業を工夫しながら、幅広い啓発活動を行っています。 				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	53	107	33	△74
経常収入 小計(a)	53	107	33	△74
給与関係費	36,070	35,062	35,067	4
物件費	9,820	9,893	9,369	△524
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	155	150	263	113
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,603	1,603	1,603	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,823	1,854	1,880	26
退職手当引当金繰入額	3,566	1,983	1,690	△293
支払利息	3,748	3,515	3,292	△223
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	56,785	54,060	53,164	△896
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△56,732	△53,953	△53,131	823
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△56,732	△53,953	△53,131	823
一般財源充当額	64,840	63,585	63,064	△521
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	8,108	9,632	9,934	302

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他(経常収入)	平成28年度は電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益74千円があったため。
物件費	千里ニュータウンプラザの施設管理委託料のうち、平和祈念資料館負担分 6,668千円
負担金・補助金・交付金等	平成29年度平和祈念資料館企画展開催に伴う報償費 110千円
減価償却費	千里ニュータウンプラザのうち、平和祈念資料館負担分 1,603千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	53	33	33	1
行政サービス活動支出	53,660	52,385	51,865	△521
行政サービス活動収支差額	△53,607	△52,353	△51,832	521
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	11,233	11,233	11,233	-
財務活動収支差額	△11,233	△11,233	△11,233	-
収支差額合計	△64,840	△63,585	△63,064	521
一般財源充当額	64,840	63,585	63,064	△521
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)雇用保険料本人負担分 33千円 (財務活動支出)平和祈念資料館負担分土地家屋購入に要した経費の返済債務 11,233千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
参加者1人あたりのコスト	平成27年度	28,188 人	2,014 円	参加者1人あたり、1,080円のコストがかかっています。前年度に比べてコストが上がっているのは、非核平和資料展の来場者数が計測できず、参加者数が減少したためです。
	平成28年度	51,688 人	1,046 円	
	平成29年度	49,223 人	1,080 円	
市民1人あたりのコスト	平成27年度	367,510 人	154 円	平成30年3月31日現在の吹田市人口の市民1人あたり、143円のコストがかかっています。昨年度に比して、コストが下がった主な要因は、物件費等の減少と吹田市人口の増加によるものです。
	平成28年度	369,522 人	146 円	
	平成29年度	370,072 人	143 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	13,086	13,112	26
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,854	1,880	26
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	11,233	11,233	-
有形固定資産	68,025	66,422	△1,603	固定負債	177,932	166,369	△11,563
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	68,025	66,422	△1,603	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	20,675	20,345	△330
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	74	74	-	その他固定負債	157,256	146,024	△11,233
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	191,018	179,481	△11,537
土地	-	-	-	純資産	△122,919	△112,985	9,934
建物・工作物	-	-	-	純資産の部合計	△122,919	△112,985	9,934
建設仮勘定	-	-	-	負債及び純資産の部合計	68,100	66,496	△1,603
重要物品	0	0	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	68,100	66,496	△1,603				

Ⅲ 財務構造分析

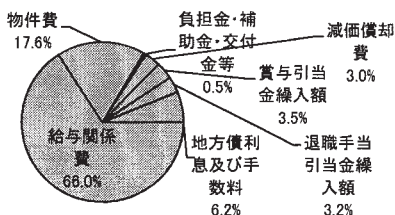
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	3人	月平均	年間従事延日数	実人数	
給与関係費等	25,806千円		12,831千円			38,637
内、時間外勤務手当	786千円					

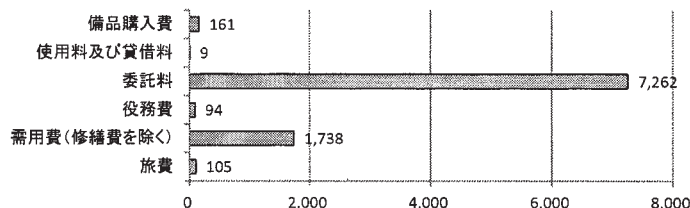
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用建物	平和祈念資料館の減価償却による減 1,603千円
その他固定負債	平和祈念資料館負担土地家屋購入に要した経費の返済債務 11,233千円
無形固定資産(事業用資産)	電話加入権 74千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立平和祈念資料館
取得年月日	平成24年6月30日
建物・工作物の取得価額	75,641 千円
建物・工作物の減価償却累計額	9,219 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	-	-	-	-
施設老朽化比率	-	7.9	10.1	2.1
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.9	99.9	99.9	0.0
経常費用対公共資産比率	75.1	71.5	70.3	△1.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

[貸借対照表]

その他流動負債、その他固定負債は千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋取得に要した経費に係る債務です。

[行政コスト計算書]

経常経費の主なものは、給与関係費66.0%と物件費の約71.1%を占める千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の施設管理委託料で、経常経費の約78.5%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

PF事業で平成24年度に取得した千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋購入に要した経費の返済債務については、平成43年度までの20年の償還期間です。

平和に関する事業のうち、平和祈念資料館については、語り部を活用した取り組みをはじめとする事業の充実を、また、実物資産の貸出を活用してもらった地域や団体における平和への取り組みの促進など、一層事業を充実させ、来館者の増加を図るとともに、資料館以外で行われる平和の取組みを推進していくなど、さらに工夫をした幅広い取り組みを行っていく必要があります。

平和祈念資料館の入居する千里ニュータウンプラザは、平成24年に開設された建物のため、老朽化はまだ問題になっていませんが、計画的に維持補修をすることで施設の長寿命化を図ることも重要であると考えています。複合施設であり、単独での大規模な修繕等は不可能ですが、全体的な修繕計画を計るよう引き続き担当所管に要請していきます。